



第39回(平成27年度)

# 久留米市民意識調査 報告書

 水と緑の人間都市・久留米

## はじめに

---

わが国は、これから本格的な人口減少・超高齢社会を迎えるなど、時代の大きな転換期にあります。久留米市では昨年、そうした人口減少を抑制するために、人口ビジョンを踏まえたキラリ創生総合戦略を策定しました。これを基本に子育て・教育や福祉の充実、産業振興、都市基盤の整備などに取り組み、未来へ向かって持続的に発展していくようなまちづくりを進めております。

特に、今年4月には、賑わいと求心力を象徴するランドマークとして整備を進めてきた久留米シティプラザがいよいよ開館を迎えます。また、10月には石橋美術館の運営が市に移ります。このような2つの文化施設の新たなスタートは、久留米市の文化芸術のさらなる振興を図る絶好の機会であり、今後、心豊かな市民生活を実現し、都市魅力の向上につなげてまいりたいと考えております。

さて、今回で39回目を迎える市民意識調査では、「行政施策」「子育てしやすいまちづくり(子どもがいきいきと学び・遊び、子育てしやすいまちを目指して)」についてご意見をうかがいました。これらの調査結果は、それぞれのテーマにおける取り組みを、さらに進めるための基礎資料として活用してまいりたいと考えています。

この調査の実施にあたり、アンケートに回答いただいた市民の皆さまをはじめ、調査にご協力いただいた方々に心から感謝いたしますとともに、今後も市政の運営にご理解とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

平成28年3月

久留米市長 榎原利則

# 目 次

## I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 調査項目	1
4 地域区分および回収状況	3
5 標本の構成	4
6 調査票回収不能理由	6
7 調査結果利用上の注意	7

## II 調査結果の分析

<b>第1章 行政施策</b>	<b>9</b>
1-1 久留米市への愛着	9
1-2 久留米市の住みやすさ	11
1-3 定住意向	17
1-4 久留米市の状況	19
1-5 環境に配慮した取り組み	21
1-6 人権問題	22
1-7 生涯学習活動、文化芸術活動、運動・スポーツ活動の状況	24
1-8 市民活動への参加状況	26
1-9 健康づくりのための運動	28
考察 -行政施策-	29
<b>第2章 子育てしやすいまちづくり</b>	<b>32</b>
2-1 結婚、妊娠・出産	32
(1) 結婚する年齢が高くなっている原因	32
(2) 結婚を希望する人に対する支援	34
(3) 安心して妊娠・出産できる環境	36
(4) 安全・安心な妊娠・出産のための環境整備	38
(5) マタニティマークの認知	40
2-2 子育てについて	41
(1) 子育てしやすいまち	41
(2) 子育て支援事業の認知	42
(3) 小児医療の充実	45
(4) 久留米広域小児救急センターの認知	47
(5) 小児救急医療電話相談（#8000）の認知	48
(6) 発達障害の認知	49
(7) 仕事と子育ての両立支援	50

2-3	地域の子育て環境	52
	(1) 公園・広場の状況	52
	(2) 子どもの遊び場としての公園・広場	53
	(3) 子どもの遊び場として望ましい公園・広場	55
	(4) 子ども・子育てに関する活動の認知と参加経験	57
	(5) 子ども・子育てに関する活動への参加意向	59
	(6) 子ども・子育てに関する活動に参加しやすくするために必要なこと	61
	考察 -結婚、妊娠・出産、子育て-	63
2-4	学校教育	69
	(1) 小・中学校で力を入れてほしいこと	69
	(2) 地域学校協議会の認知	73
	(3) 保護者や地域住民の学校に対する関わり方の程度	74
	(4) 保護者や地域住民の学校に対する関わり方	75
	(5) 教育行政に期待すること	76
2-5	子どもの文化芸術活動や読書	78
	(1) 子どもたちが文化芸術に触れる機会	78
	(2) 子どもたちが文化芸術に親しむために必要なこと	80
	(3) 子どもが本に親しむための環境整備	82
	(4) 子どもが本に親しむために図書館に期待すること	84
	考察 -学校教育・文化芸術・読書-	86
2-6	子育てしやすいまちづくり	91
	考察 -子育てしやすいまちづくり-	96

### Ⅲ 自由意見Q&A集 ..... 99

### Ⅳ 使用した調査票と全体集計結果 ..... 111-129

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、時代と共に変化する市民意識の動向と現在の多様な市民ニーズを科学的、統計的に把握し、今後の市の施策・事業の検討、推進、評価の基礎データとして活用することを目的としている。

## 2 調査の方法

(1) 調査地域	久留米市全域
(2) 調査対象者	久留米市に在住する満 20 歳以上の人
(3) サンプル数	2,000
(4) 抽出方法	住民基本台帳からの二段無作為抽出法
(5) 実査方法	調査票を郵送し、調査員が訪問回収を行う郵送法併用の留置法 (調査票は封筒に封入したものを回収)
(6) 実査期間	平成 27 年 7 月 22 日～8 月 5 日
(7) 回収数(率)	1,736 票 (86.8%)
(8) 調査の企画と実施	企画 久留米市 協働推進部 広聴・相談課 実施 西日本新聞社 お客さまセンター 調査・マーケティンググループ
(9) 調査結果の分析者	山下永子 (九州産業大学 経営学部 准教授) 武藤桐子 (香蘭女子短期大学 非常勤講師)

## 3 調査項目

今回の意識調査は、主に、1.行政施策 2.子育てしやすいまちづくり (子どもがいきいきと学び・遊び、子育てしやすいまちを目指して) という 2 つのテーマについて実施した。

### 1.行政施策

久留米市への愛着度、住みやすさ、市の状況をどう感じるかなどについて調査し、久留米市新総合計画に掲げる施策の目指す成果の達成状況を把握する基礎資料として活用する。

### 2.子育てしやすいまちづくり

久留米市の子ども・子育てを取り巻く現状と市民の意識を調査した。調査では、①「結婚」では未婚化や結婚支援について、②「妊娠・出産」では安全・安心な妊娠・出産のための環境について、③「子育て支援」では久留米市の小児医療の認知など、④「子育て環境」では公園の状況や校区コミュニティの活動について、⑤「学校教育」では、小・中学校での取り組みや教育行政について、⑥「文化芸術・読書」では子どもの文化芸術に触れる機会や読書環境について、最後に「子育てしやすいまちづくり」の視点で市の現状評価と市が取り組むべきことについて尋ねた。

調査の結果は、久留米市が目指す「全国トップクラスの子育てしやすいまちづくり」に向けた基礎資料として活用する。

## ◆設問概要図

## 平成27年度久留米市民意識調査

## ◆行政施策

- 久留米市の住みやすさ(問1)
- 住みやすいと思う理由、住みにくいと思う理由(問1付問1,2)
- 久留米市への愛着(問2)
- 久留米の状況(問3)
- 普段の生活の中での環境に配慮した取り組みの状況(問4)
- 人権問題の解決に向けて、人権に対する感覚を高めたいか(問5)
  - 人権に対する感覚を高めるために取り組みたいこと(問5付問)
- 生涯学習活動を行っているか(問6A)
- 文化芸術活動を行っているか(問6B)
- 運動やスポーツ活動を行っているか(問6C)
- 市民活動の参加意向・参加状況(問7、8)
- 健康づくりのための運動の頻度(問9)
- 施策の満足度(問10)

## ◆子育てしやすいまちづくり

## 結婚、妊娠・出産

(問11～問15)

- 結婚年齢が高くなっている原因(問11)
- 結婚を希望する人への支援策(問12)
- 安心して妊娠・出産できる環境(問13)
- 安全・安心な妊娠・出産のために必要なこと(問14)
- マタニティマークの認知度(問15)

## 子育て

(問16～問22)

- 久留米市を子育てしやすいまちだと思うか(問16)
- 子育て支援事業の認知度(問17)
- 久留米市は小児医療が充実していると思うか(問18)
- 久留米広域小児救急センター、小児救急医療電話相談 #8000の認知度(問19,20)
- 発達障害の認知度(問21)
- 仕事と子育ての両立支援策(問22)

## 地域の子育て環境

(問23～28)

- 近くに公園・広場は十分にあるか(問23)
- 子どもの遊び場として公園・広場をどのように感じているか(問24)
- 子どもの遊び場としてどのような公園・広場であることが望ましいか(問25)
- 子ども・子育てに関する活動の認知度、参加経験(問26A,B)
- 子ども・子育てに関する活動への参加意向(問27)
- 子ども・子育てに関する活動へ参加しやすくするための取り組み(問28)

## 学校教育

(問29～問33)

- 小・中学校で力を入れてほしいこと(問29A,B)
- 地域学校協議会の認知(問30)
- 保護者や地域住民の学校に対する関わり方の程度(問31)
- 保護者や地域住民の学校に対する関わり方の内容(問32)
- 久留米市の教育行政に期待すること(問33)

## 子どもの文化芸術活動、読書

(問34～問37)

- 子どもたちが文化芸術に触れる機会は十分にあるか(問34)
- 文化芸術に親しんでいくために必要なこと(問35)
- 子どもが本に親しみ、読書をするための環境整備(問36)
- 市立図書館に期待すること(問37)

## 子育てしやすいまちづくりについて

(問38)

- 子育てについて充実していること、取り組むべきこと(問38A,B)

## ◆自由意見(久留米市の今後のあり方について)

(問39)

## 4 地域区分および回収状況

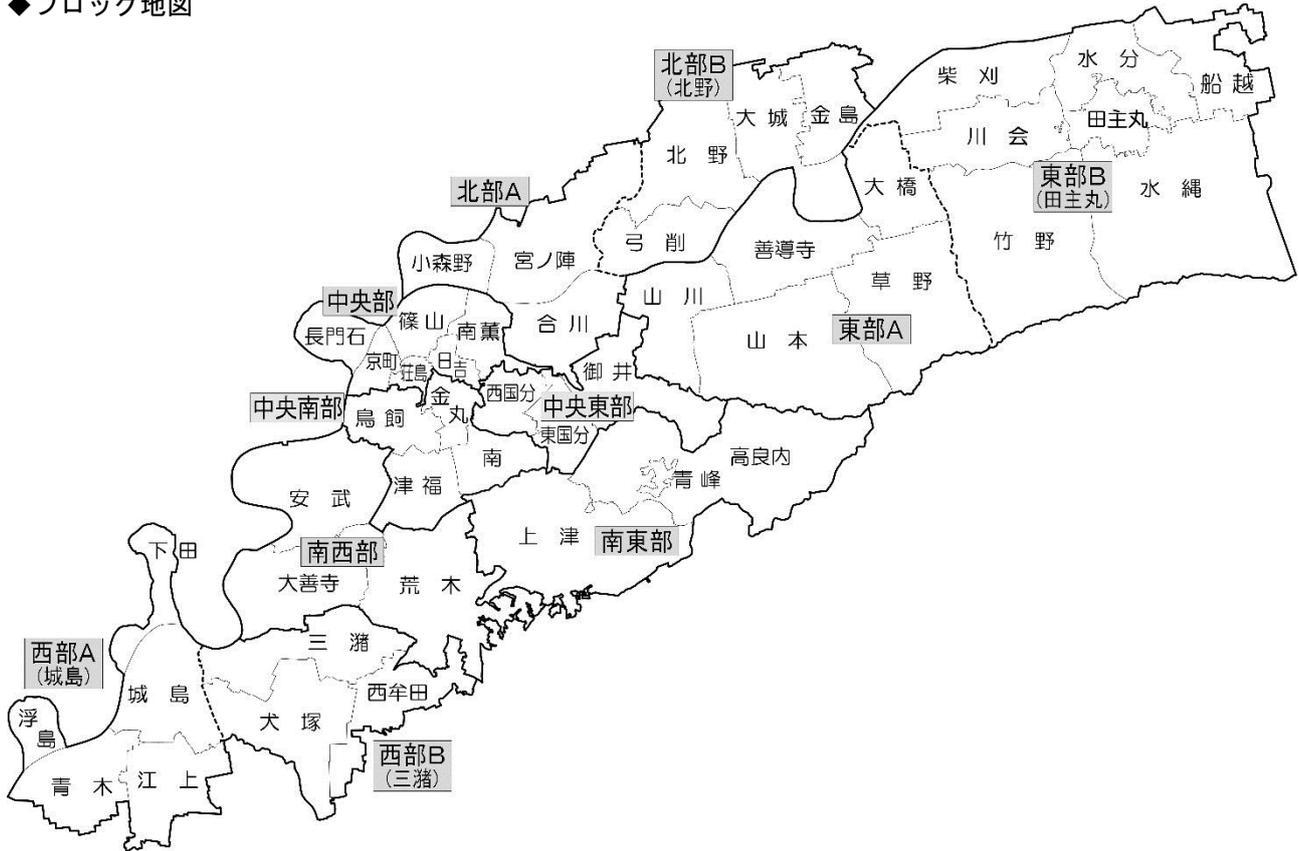
地域別の特性をみるために、市全体を合計 11 のブロックに区分し分析を行っている。なお、各ブロックに対応する小学校区および校区別の有効回収率は以下の通りである。

ブロック	校区	配布数	有効回収数	有効回収率
東部 A	山川	40	35	87.5%
	山本	20	19	95.0%
	草野	20	19	95.0%
	善導寺	50	48	96.0%
	大橋	10	9	90.0%
東部 B	船越	10	8	80.0%
	水分	10	8	80.0%
	柴刈	10	8	80.0%
	川会	10	9	90.0%
	竹野	20	18	90.0%
	水縄	20	18	90.0%
	田主丸	40	33	82.5%
北部 A	小森野	30	28	93.3%
	合川	100	76	76.0%
	宮ノ陣	60	46	76.7%
北部 B	北野	60	50	83.3%
	弓削	20	17	85.0%
	大城	30	27	90.0%
	金島	20	18	90.0%
中央東部	西国分	110	86	78.2%
	東国分	80	68	85.0%
	御井	60	52	86.7%
南東部	上津	110	100	90.9%
	高良内	70	65	92.9%
	青峰	20	19	95.0%
中央部	荘島	30	23	76.7%
	日吉	40	35	87.5%
	篠山	50	42	84.0%
	京町	40	33	82.5%
	南薫	70	64	91.4%
	長門石	40	38	95.0%
中央南部	烏飼	60	51	85.0%
	金丸	90	76	84.4%
	南	110	101	91.8%
	津福	80	71	88.8%
南西部	荒木	80	71	88.8%
	大善寺	50	42	84.0%
	安武	40	37	92.5%
西部 A	城島	30	29	96.7%
	下田	10	10	100.0%
	青木・浮島	20	19	95.0%
	江上	20	17	85.0%
西部 B	犬塚	40	35	87.5%
	三瀧	40	32	80.0%
	西牟田	30	26	86.7%
<b>全市</b>		<b>2,000</b>	<b>1,736</b>	<b>86.8%</b>

ブロック	配布数	有効回収数	有効回収率
東部	260	232	89.2%
北部	320	262	81.9%
中央東部	250	206	82.4%
南東部	200	184	92.0%
中央部	270	235	87.0%
中央南部	340	299	87.9%
南西部	170	150	88.2%
西部	190	168	88.4%
<b>合計</b>	<b>2,000</b>	<b>1,736</b>	<b>86.8%</b>

ブロック	配布数	有効回収数	有効回収率
東部 A	140	130	92.9%
東部 B(田主丸)	120	102	85.0%
北部 A	190	150	78.9%
北部 B(北野)	130	112	86.2%
中央東部	250	206	82.4%
南東部	200	184	92.0%
中央部	270	235	87.0%
中央南部	340	299	87.9%
南西部	170	150	88.2%
西部 A(城島)	80	75	93.8%
西部 B(三瀧)	110	93	84.5%
<b>合計</b>	<b>2,000</b>	<b>1,736</b>	<b>86.8%</b>

◆ブロック地図



5 標本の構成

◆基本属性

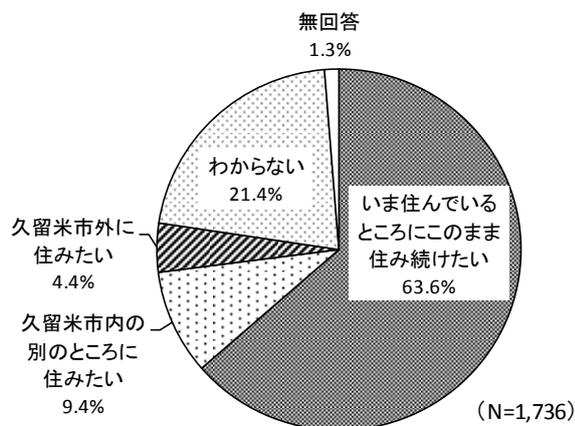
	標本数(票)	性別(%)		年齢別(%)						住まいの形態(%)						
		男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	持ち家・一戸建て	持ち家・集合住宅(分譲マンション)	借家住宅(一戸建て)	賃貸住宅(アパート、マンション)	・寮など (公務員住宅・社宅)	間借り、その他	
全体	1,736	45.6	54.4	11.9	16.1	17.2	19.1	23.0	12.8	65.2	7.0	4.7	21.8	0.9	0.5	
ブロック別	東部A	130	48.5	51.5	10.0	12.3	20.8	17.7	20.0	19.2	90.0	-	2.3	6.9	0.8	-
	東部B(田主丸)	102	43.1	56.9	10.8	14.7	15.7	15.7	22.5	20.6	86.3	-	6.9	6.9	-	-
	北部A	150	41.3	58.7	7.3	20.7	21.3	20.0	18.7	12.0	53.3	5.3	4.0	36.7	0.7	-
	北部B(北野)	112	50.0	50.0	14.3	16.1	15.2	19.6	24.1	10.7	87.5	0.9	3.6	8.0	-	-
	中央東部	206	48.1	51.9	14.6	21.4	14.1	21.8	18.0	10.2	47.1	11.2	6.8	33.5	1.5	-
	南東部	184	46.7	53.3	13.6	16.8	18.5	15.2	24.5	11.4	70.7	0.5	4.3	23.4	1.1	-
	中央部	235	45.1	54.9	11.1	11.5	17.0	21.7	27.7	11.1	41.7	20.0	5.5	30.2	1.7	0.9
	中央南部	299	44.5	55.5	12.0	17.1	17.7	18.7	23.4	11.0	52.5	13.4	5.4	27.8	0.3	0.7
	南西部	150	40.7	59.3	12.0	16.0	19.3	17.3	22.0	13.3	78.7	0.7	3.3	15.3	1.3	0.7
	西部A(城島)	75	52.0	48.0	9.3	10.7	10.7	17.3	32.0	20.0	85.3	1.3	2.7	8.0	1.3	1.3
西部B(三潁)	93	46.2	53.8	14.0	15.1	14.0	22.6	22.6	11.8	91.4	-	3.2	3.2	-	2.2	

## ◆標本の構成

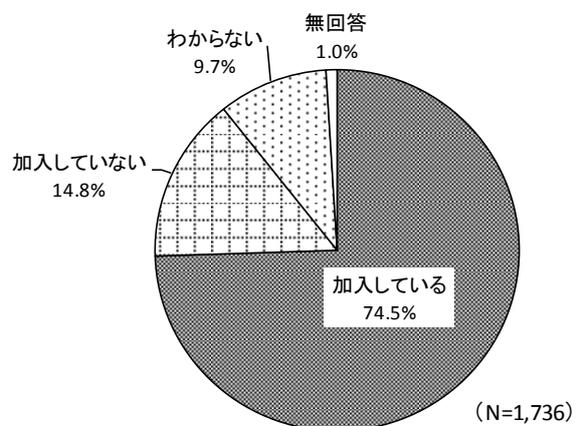
N=1,736		回収数 (票)	比率 (%)
性別	男性	792	45.6
	女性	944	54.4
年齢	20歳代	206	11.9
	30歳代	279	16.1
	40歳代	298	17.2
	50歳代	331	19.1
	60歳代	399	23.0
	70歳以上	223	12.8
	家族構成	単身	179
夫婦だけ		328	18.9
親・子(2世代)		917	52.8
親・子・孫(3世代)		258	14.9
その他		33	1.9
婚姻状況	結婚している	1,135	65.4
	配偶者(パートナー)と離別・死別	194	11.2
	結婚していない	397	22.9
	無回答	10	0.6
同居家族	未就学児	212	12.2
	小学生	199	11.5
	中学生	132	7.6
	上記以外の18歳未満の子ども	174	10.0
	上記に当てはまる人はいない	1,192	68.7
	無回答	17	1.0

N=1,736		回収数 (票)	比率 (%)
職業	農林漁業	44	2.5
	自営業	169	9.7
	給与所得者(常勤)	635	36.6
	パート・アルバイト(学生は除く)	288	16.6
	学生	40	2.3
	家事に専念	203	11.7
	無職	318	18.3
	その他	19	1.1
	無回答	20	1.2
住居形態	持ち家・一戸建て	1,132	65.2
	持ち家・集合住宅 (分譲マンション)	122	7.0
	借家住宅(一戸建て)	81	4.7
	賃貸住宅(アパート、マンション)	378	21.8
	勤務先給与住宅(公務員 住宅・社宅・寮など)	15	0.9
間借り、その他	8	0.5	
居住年数	5年未満	134	7.7
	5～10年未満	122	7.0
	10～20年未満	209	12.0
	20～30年未満	309	17.8
	30～40年未満	309	17.8
	40年以上	633	36.5
	無回答	20	1.2

## ◆久留米市への定住意向



## ◆自治会(町内会)の加入状況



◆久留米市への定住意向、自治会（町内会）への加入

	標本数 (票)	久留米市への定住意向(%)					自治会(町内会)への加入(%)				
		まとい 住みろ みろに けこの たい いまる	たの久 いと米 ころ市 に内 に住 の み別	み久 た留 い米 米市 外に 住	わ か ら な い	無 回 答	加 入 し て い る	加 入 し て い な い	わ か ら な い	無 回 答	
全 体 (カッコ内は標本数)	100.0 (1,736)	63.6 (1,104)	9.4 ( 163)	4.4 ( 76)	21.4 ( 371)	1.3 ( 22)	74.5 (1,293)	14.8 ( 257)	9.7 ( 169)	1.0 ( 17)	
性別 × 年 齢 別	男性:20歳代	103	32.0	10.7	12.6	43.7	1.0	35.9	29.1	34.0	1.0
	男性:30歳代	145	53.8	9.0	4.1	32.4	0.7	57.2	22.8	20.0	-
	男性:40歳代	126	56.3	15.1	3.2	25.4	-	73.0	18.3	8.7	-
	男性:50歳代	151	65.6	9.9	4.6	17.9	2.0	77.5	16.6	5.3	0.7
	男性:60歳代	179	75.4	5.0	3.9	14.0	1.7	87.2	8.4	3.4	1.1
	男性:70歳以上	88	77.3	3.4	4.5	13.6	1.1	89.8	9.1	-	1.1
	女性:20歳代	103	38.8	20.4	7.8	32.0	1.0	44.7	24.3	30.1	1.0
	女性:30歳代	134	53.7	19.4	3.7	21.6	1.5	54.5	28.4	16.4	0.7
	女性:40歳代	172	57.0	11.0	2.3	27.3	2.3	82.6	9.3	5.2	2.9
	女性:50歳代	180	70.6	7.8	1.1	18.9	1.7	86.7	8.3	3.9	1.1
	女性:60歳代	220	74.1	5.9	5.5	13.6	0.9	89.1	7.7	2.3	0.9
	女性:70歳以上	135	88.9	-	3.0	7.4	0.7	85.9	8.9	4.4	0.7

6 調査票回収不能理由

回収不能の総数およびその理由は、以下に示されるとおりである。

◆回収不能理由

理 由	件数 (件)	比率 (%)
不在	79	29.9
拒否	72	27.3
内容不備	41	15.5
対象外	32	12.1
転居・転出	22	8.3
病気、入院・入所	13	4.9
住所不明	3	1.1
死亡	2	0.8
計	264	100.0

## 7 調査結果利用上の注意

- ◇比率は百分率(%)で、小数点以下第二位を四捨五入した。このため、合計の比率が0.1~0.3%程度増減することがある。また、2つ以上の回答(複数回答)を求めたものについては、比率の合計は100%を超える。
- ◇文中の選択肢の表示は「 」で行い、選択肢のうち二つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。その場合の数値については、選択肢ごとに小数点以下第二位を四捨五入したものを合計して表示した。
- ◇数表、図表に示すNは、比率計算上の基数(標本数)である。
- ◇数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を省略している場合があるので、巻末の調査票を参照のこと。
- ◇本調査における標本誤差は、回答者数(n)と得られた結果の比率によって異なるが、単純無作為抽出法を仮定した場合の誤差(95%は信頼できる誤差の範囲)は、下表のとおりである。

各回答の 比率 P 回答数(n)	10% (又は90%)	20% (又は80%)	30% (又は70%)	40% (又は60%)	50%
3,000	±1.1	±1.4	±1.6	±1.8	±1.8
2,000	±1.3	±1.8	±2.0	±2.2	±2.2
1,000	±1.9	±2.5	±2.8	±3.0	±3.1
500	±2.6	±3.5	±4.0	±4.3	±4.4
100	±5.9	±7.8	±9.0	±9.6	±9.8

なお、本調査のように二段無作為抽出法による場合は、標本誤差が若干増減することもある。また、誤差には回答者の誤解等による計算不能な非標本誤差もある。

(表の見方)

回答者数が2,000人で、ある設問の選択肢の比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、±2.2ポイント以内(57.8%~62.2%)であると見ることができる。

- ◇過去の調査で今回と同様の質問を行っている場合、随時その結果を掲載している。ただし、平成17年度調査より前においては、調査地域は合併以前の久留米市域のみとなっている。各テーマ別に比較した過去の調査は以下のとおりである。

- 行政施策 平成26年度 久留米市民意識調査
- 学校教育 平成25年度 久留米市民意識調査